



熱田リハビリテーション病院 新しいリハ室への挑戦

モリトーは、安心と楽と満足を提供します！

モリトーはこんな会社でした。

「お風呂もベッドも使えるリフト」をつくろう！

これまでにない、便利で画期的な介護リフトを作ろうと思い立った。1992年のことである。ベッドを作っている友人を口説き協力を取り付け一緒に開発を進めることになった。リフトが欲しいと望まれた介護者の方のほとんどが、「ベッドで使いたい、お風呂でも使いたい。」これが実現できたら介護は本当に楽になる。ご本人もきっと喜ぶ。目標はこの二つの要望をかなえられれば、すべてがうまくいく。この2点をかなえられるリフトを作れば、これまでリフトを使いたいと思いながら使えなかった方たちの思いにきっと応えられる。そしてこれからもたくさんの方に喜んでもらえるだろうと考えた。アイデアもまとまり製作することになった。これは最高のグッドアイデアで、従来の床走行式リフトの機能を持ちながら、既設の浴槽でも使えるものなのだ。

床走行式リフトは、アームの付いた支柱とキャスターの付いた脚部でできているので、浴槽の真下に脚部が入らないことには人を浴槽の中に入れることはできない。そこで支柱を改造しアームが90度回転することにした。当然、人を吊り上げて回転すると転倒してしまうので転倒しないように突っかい棒を付けるというアイデアなのだ。このアイデアはかなり“いけてる”と思ったが、そんなに甘いものではない。何度か形を変えて試作を繰り返すが、作ってみるとすぐにダメなことに気づく、全く安定しない。何度も変更、修正を繰り返した。悪戦苦闘、挙句の果てにベッド工場の職人さんも、だんだん不機嫌になっていく、しまいには協力してくれなくなりあえなく挫折。しっかり反省し、友人と考えた次のアイデアは、またまた世の中にない独創的なアイデアであった。



熱田リハビリテーション病院
紹介動画



MORITOH CORPORATION

株式会社 モリトー

本社：愛知県一宮市東島町 3-36 (☎ 0120-65-2525)
営業所：札幌・仙台・埼玉・東京・中部・大阪・岡山・福岡

テレビコマーシャル全3部作ご覧ください！



入浴編



リフト編



ドライブ編

XY型レール走行式 安全懸架装置

在宅復帰に向けて、日常生活が
安全で快適で継続的に送れる
よう実践的な練習を実施。



リフトを使用した座位からの移乗



端座位姿勢
からリフトで
支え車いす
へ移乗。
安全な移乗
動作の練習。

リフトを使用した立位での移乗



リフトで支えられ
ながら立ち上がり、
手すりを伝ってポー
タブルトイレへ移動
し便座に座る。
排泄の自立化、軽介
助化の練習で安心の
在宅復帰。

病棟廊下も病室も天井走行リフトで安全歩行



ターンテーブルで、
廊下、病室、トイレ
へ移動が可能。

廊下での転倒リスクを無くし、歩行介助の労力軽減で介助者の
腰痛予防にも効果。



病室内でベッド
からトイレまで
安全懸架で歩行
移動。
排泄介助も安全
で自立化、軽介
助化の実現。

病棟浴室

病棟の浴室にリフトを
設置。安楽キャリーで、
ゆったり入浴。
介助者一人で入浴介助
が可能。

